

春の風

愛知淑徳学園理事長・学園長

小林素文

本年3月、囲碁AI(人工知能)も参加した「ワールド碁チャンピオンシップ」において、日本のナンバーワン、井山裕太6冠がAIに敗れました。4月に入ると、将棋プロ棋士の佐藤天彦名人が将棋AIに敗れました。

囲碁や将棋に限らず、あらゆる分野でのAIの進歩は目覚ましく、これにより、社会は大きく変貌するであろうと、様々の未来予測がされています。

そこで、今年の卒業式では次のような祝辞をおくりました。

*

米国デューク大学キャシー・デイビッドソン教授は「今の子ども達の65%は大学卒業時に現在存在していない職業に就くだろう」と予測しています。

確かに、今から20年前、日本の巨大企業「楽天」はその前身エム・ティー・エムをスタートさせたばかりでした。世界の巨大企業「グーグル」は存在すらしていませんでした。

これから先の20年、知識の自動化はさらに進み、デイビッドソン教授の予測通り、職業構造は大きく変貌していくでしょう。

大きく変化していく社会で、自分らしく生きていくために必要な資質は何でしょうか。

世界で最も影響力があった経営コンサルタント、スティーブン・コヴィイ博士は「人は変わらざる中心がなければ変化に耐える事ができない」と述べ「変化に対応する能力を高めるには『自分は誰なのか、何を大切にしているのか』を明確にすることである」と述べています。確かに、自分自身の中心がなければ、変化に右往左往し、流されるばかりとなりましょう。

どうぞ、様々な経験を重ねる中で、皆さんそれぞれが中心となる資質を高め、どのような時代になろうとも自分らしい生き方を貫いていってください。

*

卒業式で言及した「中心」とは、「アイデンティティ」のことです。経営危機にひんした日産を見事に立てなおしたカルロス・ゴーン氏は、「グローバルな時代に最も大切なことは「アイデンティティ」を失わず、多様性を受け入れること」と述べています。卒業生達が、心があり、違いを認めることができる心温かい人に成長されることを心より願っています。

*

3月は卒業式。中高一貫教育の愛知淑徳中学校の卒業生総代は、義務教育を終えた今の思いを「春風や闘志抱きて丘に立つ」と高浜虚子の歌に託しました。

4月は入学式。新入生たちが若者らしく闘志を抱き、思いっきり泣いたり笑ったりして、



空一春きざす(久世直幸)

113年目からの愛知淑徳の歴史を継承してくれるでしょう。

野に出てよ見わたすかぎり

春の風(辻征夫)

(左の絵画は久世画伯より寄贈され、星が丘キャンパスに展示されています)